



- 1 福地温泉郷には囲炉裏を印象的に使った味わい深い湯宿が多い
- 2 檜が香り立つ内湯には熱めの湯とぬるめの湯が満たされて
- 3 今も毎年2mもの氷柱が屋根から下がるといふ、雪深い地
- 4 紅鱈のお造りや岩魚卵は、山でしか出会えない豊かな味

奥飛騨の山峡にひっそりと隠れるように息づく福地温泉。十数軒の湯宿が寄り添うように連なるその佇まいは、封印された昔話の世界を想わせる。この雪深い地の風景にそっと溶け込むように古民家を移築し、懐古の色を宿す旅荘に転生させた——そんな魅力的な湯宿が、この山里には点在しているのだ。

「湯元長座」もまた、豪農の館の古材を集め完成させた湯宿だ。敷地を流れる小川に沿った小径の先に現れる、飛騨造りの母屋に満ちる静謐。玄関の引き戸を開ける時、その重厚さに驚かされた。豪雪地の旧家ならではの高い天井に洗練された照明が灯る。時間が降り積もったような土間から囲炉裏の間上がれば、飴色の艶を放つ梁や柱が気品と風格を醸し出している。

囲炉裏端にそっと腰かける。ゆらりと燃える炎。仄かな薪の香り。滋味深い料理の数々。炭のはぜる音が逆に静けさの深さを教え、柱時計の振り子が緩やかな時を刻む……。ここには物語の気配が濃密に漂う。

そして通された客室にも囲炉裏が暖かく燃えている。揺らめく火影に一瞬、幻想の故郷が鮮やかに浮かび上がった。

岐阜県 福地温泉

湯元長座

住所：岐阜県奥飛騨温泉郷福地温泉

TEL：0578・89・0099

料金：1泊2食 ¥20,150～〔1室2名利用時の1名分料金〕

CHECK IN：2:00PM OUT：10:30AM

32室 カード使用不可

交通アクセス：JR中央本線松本駅より「新穂高温泉」行きバス

1時間30分「福地温泉下」下車／

長野自動車道松本ICより国道158号・471号経由、車1時間30分

静かに降り積もる時が磨き上げた、
飴色の美学に出逢う。